SGH 課題研究発表会 NEWSLETTER

第２号
2019/2/26

発行：横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校 サイエンス･グローバル事務局

３月 15 日は SGH 課題研究発表会

１．SGH 課題研究発表会（午後 ysfFIRST） 当日のスケジュール

SGH 課題研究発表会 タイムテーブル

時間	活 動 内 容
8:35	ＳＨＲ
8:50	アリーナ集合・着席完了
9:00	開会 オープニングメッセージ 報告１「GSⅡ研究発表」 報告２「オーストラリアイマージョン実習」 報告３「ベトナム環境問題実地調査」 報告４「マレーシア熱帯林調査」 報告５「GS 特別講座」
10:00	全体会終了、各分科会へ移動
10:20	分科会（18 会場） グループディスカッションと発表
11:30	分科会終了
11:40	まとめ（各クラス教室）
12:45	（ysfFIRST 受付、発表準備）

３月 15 日の SGH 課題研究発表会は、今年度本校で行われた SGH の活動についての報告を聞き、研究や研修の成果を共有するとともに、全員が 18 の分科会に分かれて、グループディスカッションを行います。SGH 校として、グローバルな問題について仲間と意見を交換しながら理解を深め、世界と自分とのつながりや、現在地球規模で起きている問題について、高校生として何ができるかを考える時間です。

分科会 参考タイムテーブル

10:20	ディスカッションテーマの説明
10:25	発表①
10:32	発表②
10:40	グループディスカッション
11:10	グループごとに発表
11:20	まとめ、助言者からの講評
11:30	分科会終了

分科会希望アンケートの提出

２．アンケートの提出期限は ２月 28 日（木）です！

当日の分科会は、テーマ別に 18 の会場に分かれて行います。会場ではまず運営生徒の発表を聞き、それについてグループに分かれてディスカッションを行います。各生徒がどの分科会に参加するかは、アンケートの希望をとった上で今後決定します。次ページ見開きの分科会テーマと紹介文をよく読んで、関心のある分科会を選んでください。

分科会番号	分科会テーマと紹介文
1	**GSⅡ-自然科学系「外来生物について考える」** 現在、日本では 148 種の生き物が特定外来生物に指定されています。この分科会では、特定外来生物が引き起こす様々な問題に対して私たちはどのように向き合うべきか考えを共有し、理解を深めたいと思っています。
2	**GSⅡ-社会構造系「メディア問題について考える」** 私たちは社会で起こっている様々な問題について研究しています。例えばメディアに対する信頼性を比較したり、原発を脱するために何ができるかを考えたり、戦争心理学など多種多様です。発表を聞いた後に討論を行いたいと思います。ぜひ来てください。
3	**GSⅡ-環境系「Earth Environment」** 私たちは環境について研究してきました。今回はブースごとにポスターとその内容について参加者の皆さんと一緒に議論していきます。また研究で制作したカードゲームの体験コーナーも設置します。来年度ＧＳに参加する１年生の質問も受け付けますので是非いらしてください。
4	**GSⅡ-生命･倫理系「身近な心理と動物愛護とは？」** 「身近な心理」では、社会問題から１つピックアップし、それについてディスカッションしていきます。テーマは当日発表します。「動物愛護」では、この言葉の定義について話し合います。この言葉は曖昧な意味しかないので、より具体的な定義を考えていきましょう。お待ちしております。
5	**GSⅡ-社会学系** 私たちのグループでは、２年次メンバーのテーマ紹介や、１年次・２年次全員でのディスカッションをします。ディスカッションのテーマはまだ決まっていませんが、私たちを取り巻く身近な問題をピックアップする予定です。みなさんのテーマ設定・研究に役立てるものになればと思います。
6	**GSⅡ-経済系「通貨のこれから」** 私は今までの研究で、これからの通貨はどうなるのかということを調べてきました。仮想通貨、電子マネー、現金、の３つの観点から見ていきます。皆さんと一緒に経済について語り合いましょう。
7	**GSⅡ-教育系「横浜サイエンスフロンティア高校のグローバルスタディーズ教育」** 日本の教育の課題や社会問題に対して「教育」そのものの改革による解決、「教育」を手段とした解決について、１年を通して研究してきました。今回はその中で培われた個々の「教育」に対する視点を生かして「横浜サイエンスフロンティア高校のグローバルスタディーズ教育」について、それぞれの視点から分析してみたいと思います。

8	**SGH 海外研修 オーストラリア イマージョン実習** **「オーストラリアと日本における動物愛護と文化の違い」** オーストラリアにおいてペット（愛玩動物）、野生動物、海洋生物、オーストラリアでの暮らしについて、オーストラリアの文化と日本の文化の差異を共にお話します。
9	**SGH 海外研修 ベトナム環境問題実地調査** **「発展途上国においてごみ問題への意識を高めるには」** ベトナムの一部の地域では、清潔な水の供給が困難な状況にあります。しかしフエ市では横浜市水道局の支援により水問題の改善がみられました。一方ダナン市では、市民のごみ問題への意識が低いために、ごみはそのまま最終処分場に埋められていました。分科会では、現地での調査をもとにごみ問題について考えていきましょう。
10	**SGH 海外研修 マレーシア熱帯林調査** **「発展途上国においてごみ問題への意識を高めるには」** みなさん「パーム油」といったら、どんなイメージがありますか？どんなところで使われているか知っていますか？森林破壊などのイメージが強くありますが『本当に』そうなのでしょうか。実際に現地に行き、話を聞くことで実状を知ることができましたそのことについて皆さんに話したいと思います。
11	**SGH 国内研修「東日本大震災・防災を考える」** 被災地の小学校について学んだことや現地の人たちの体験談などを実際に見たり、聞いたりしたことからわかった東日本大震災についてと東北の現状について伝えていきたいと思います。
12	**GS 特別講座-戦争「なぜ戦争が起きるのか」** 私たちは戦争をテーマにして、なぜ戦争が起きるのか、その経済性などを科学的に考えていきたいと思います。
13	**GS 特別講座-環境Ａ「ごみ問題」** 主にごみ問題について発表します。海洋プラスチックゴミやゴミのポイ捨て、災害等です。ディスカッションの時間もあるので、ぜひ皆さん話し合いましょう。
14	**GS 特別講座-環境Ｂ「環境にやさしい水」** 私たちは主に「水」の問題について話し合います。環境にやさしい「水」の使い方などを考えます。
15	**GS 特別講座-教育「教育の経済格差・授業内容の格差」** 「教育の経済格差」や「授業内容の格差」についてＧＳ特別講座参加者がプレゼンテーション発表をします。その後、参加者全員で問題の解決に向けた話合いを行います。格差に限らず、いじめや支援級など少しでも教育の”これから”に関心がある人はぜひ気軽にご参加ください。

16	**GS チャレンジ A「BMI（ブレインマシーンインターフェイス）」** ＳＬⅡで行うＢＭＩに関する研究についてのプレゼンテーションやそれに対する質疑応答、ディスカッションなどを行います。はじめてＢＭＩという言葉を知った人でも楽しめるようにしたいと思いますが、積極的にディスカッションができる人ならより楽しめると思います。
17	**GS チャレンジ B「ココロ繋げる子ども食堂」** 日本の子ども７人に１人が貧困。あなたはどう捉えますか。子ども食堂の”リアル”を通して、「日本の相対的貧困」の本質に触れてみませんか。
18	**フリー･ザ･チルドレン Japan** NPO 法人フリー･ザ･チルドレンからお招きする講師の方とのアクティビティーを通して、途上国の子どもたちの状況や、問題解決のために高校生ができることなどについて話し合いましょう。

３．NPO 団体 フリー・ザ・チルドレンとは

SGH 課題研究発表会では、NPO 法人フリー･ザ･チルドレンの方からオープニングメッセージをいただく他、分科会 NO.17 では活動についてのワークショップが開催していただきます。以下は団体の紹介です。

すべては 12 歳の少年からはじまった（フリー・ザ・チルドレン HP より）

カナダ人のクレイグ少年(当時 12 歳）は、ある朝新聞で、世界には貧困のため奴隷のように働かされる子どもがたくさんいることを知り、大きなショックを受けました。
なぜ、子どもなのに働かなければいけないの？どうして、学校に行けないんだろう？
疑問とともに憤りを感じたクレイグは、働かされる子どもたちを助けたいと思うようになりました。そこで、子どもの問題なら、自分たち子ども自身で取組もうと考え、「Free The Children(フリー・ザ・チルドレン)」を設立。「子どもにできることなんて無いよ」と何人にも言われたクレイグくんですが、「子どもだからこそできることがある」と信じ、活動をあきらめることなく続けた結果、 途上国に現在まで 1,000 校以上もの学校建設を行い、20 万人の子どもが教育を受けられるようになりました。
ひとりの少年から始まった活動は、現在では日本を含む 20 か国以上で 230 万人もの子どもや若者が参加するまでになりました。

４．次号予告 －SDGs についての理解を深めよう！

次回の NEWSLETTER 第３号では、SDGs: Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）について説明したいと思います。SDGs（持続可能な開発目標）は、2015 年 9 月、ニューヨークの国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」において、新しい持続可能な開発アジェンダとして採択されたもので、2016 年 1 月 1 日に正式に発効しました。

当日までに SDGs への理解を深め、SGH 課題研究発表会当日は、ぜひ自分たちのテーマと SDGs の関連についても考え、高校生として何ができるかを考える時間にしてほしいと思っています。

SDGs の 17 のゴール